

## 浜田市子育て支援センターとのヒアリングについて

- 1 実施日 令和3年3月5日（金）16:00～17:00
- 2 対象者 浜田市子育て支援センター職員 2名
- 3 主な内容

### (1) 子育て支援センターについて

- ・ 就学前の子どもとその家族が気軽に遊べる場所。
- ・ 開所は月曜～土曜(8:30～17:00)。

### (2) 現在の事業内容について

- ・ 年齢に合わせた遊びを親子で一緒に楽しんだり、参加者同士の交流を深める集い
- ・ 食育講座(離乳食、幼児食)
- ・ 育児相談(毎週金曜)は、身体計測の他、相談内容に合わせて保健師・保育士・栄養士・助産師・保育士などが対応している。
- ・ ランチタイム(11時～13時)を設けて、希望者はセンター内で昼食がとれる。  
※現在は新型コロナ感染予防のため、1時間に2組の予約制。
- ・ ボランティアについては、広報などで地域の方に呼びかけて、絵本の会や手作りおもちゃの会、おもちゃの病院などを行っている。全体で 10人程度のボランティアが参加されている。

### (3) 現在の利用者について

- ・ 月曜～金曜は在宅児が多い。保育所への入園は低年齢化している傾向あり、利用者も乳児が多い。
- ・ 土曜は園児の来所も多い。
- ・ イベントがある時は平日10～15組、ない時は10組前後が利用され、土曜は20～25組の利用がある。
- ・ 子どもを連れて来られるのは母親が多い。父親や祖父母が連れて来られることもある。
- ・ 利用目的は「友達づくり」、「親子で遊びたい」、「子育てに関して学びたい」「育児不安の解消」「子育てに関する情報収集」が多い。

### (4) 子育て世代包括支援センター関係について

- ・令和4年にできる子育て世代包括支援センターは、今の子育て支援センターと子育て世代包括支援センター(窓口業務を含む)の業務を担う。
- ・日曜は遊びに行くところが少ないとの声もあり、日曜も開設する予定。休日保育の機能も継続する予定である。

## (5) 歴史文化保存展示施設との連携について

### ア 子どもたちについて

- ・親子でふれあいながら遊ぶことで、絆を深められる事業が前提となる。
- ・子どもにとって楽しいと感じられることから入ることが大事。
- ・利用者の特徴が平日と土曜で年齢層が変わるため、子ども自身に働きかけるのであれば土日、平日は乳幼児の保護者に対して働きかけるような活動がよいと思う。
- ・親自身が参加しやすい工夫も必要。(時間が長いと抱っこしている赤ちゃんが泣きだしたり、飽きて部屋を出たがったり)
- ・現地に行くような企画も良いが、その場合、合間でおむつ交換に寄れる場所を考慮するなど、子ども連れの親子が参加しやすいような企画にする必要がある。
- ・参加した親子が転勤しても、浜田に愛着を持ってもらえるとよいと思う。

### イ 歴史や文化の活用について

- ・昔の道具(若い親子が知らないもの)や石見神楽、石見畳ヶ浦など興味を持ちやすいかもしれない。(整備方針 P8 想定する利用方法より)
- ・土器だったらお皿に絵付けをしてみるなど。
- ・神楽は子供たちも大好き。展示の内容としてはよいのではないか。子どもサイズの衣装を置いて体験ができるとよい。また、赤ちゃんでも囃子を聞くと体を動かしたりもする。ただし、子どもによっては神楽の衣装やお面を怖いと思う子どももいるので、見せ方には工夫が必要だと思う。
- ・展示室でも衣装を着たり、画面上の着せ替え(神楽の衣装など)写真を撮って持ち帰っていただける活動も楽しめると思う。

- ・ 四季の行事と関連させると興味を持ちやすいのではないか。
- ・ 企画によって開催場所を検討したり、子ども美術館などと共催したりして、参加しやすい工夫ができればよいと思う。

<ヒアリングを受けて>

- ▶ 利用は平日が乳児を中心とした在宅児、土曜は幼児(園児)も多く、それぞれ年齢に合った事業を企画することが前提。
- ▶ 親子がふれあいながら一緒に活動を行うことが重要。
- ▶ 子ども連れの親子が参加しやすい環境を整えることが必要。